

今後の外航海運政策の概要

1 基本的な考え方

- ① できる限り企業経営への国の介入を行わず、競争を通じて良好な輸送サービスの実現
- ② フェアで安定的な市場環境の確保
- ③ 安全・環境・保安対策の充実

2 具体的施策

(1) 我が国商船隊による安定輸送の確保

- ① 船長・機関長の配乗要件の見直しによる日本籍国際船舶の国際競争力向上
- ② 日本籍船増加のためトン数標準税制の具体的制度の検討
- ③ 便宜置籍船に対し我が国管轄権を及ぼす制度の検討
- ④ 日本人船員の確保・育成のため労使の新たな取り組みに対し支援

(2) 外航海運発展のための環境整備

- ① 独占禁止法適用除外制度の適正な運用
- ② WTO海運サービス交渉、経済連携協定等の交渉を通じた自由化の推進
- ③ 敵対的買収に対する対策の検討
- ④ アジア諸国との連携強化

(3) 安全・環境・保安対策の推進

- ① 国際基準に即した安全・環境・保安対策の推進
- ② 安全マネジメントの一層の推進
- ③ ILO海事統合条約の早期発効・早期批准に向けた取組の推進
- ④ 外国船に対するPSCの効果的な実施
- ⑤ マラッカ・シンガポール海峡対策の推進
- ⑥ 海賊・テロ対策の充実